

月惑星探査のための焼成膜による機構部品の開発

事業概要（フェーズ1）

内容

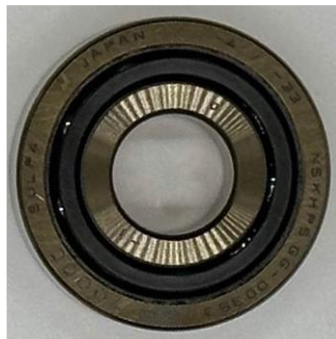
焼成膜による固体潤滑処理を用いて、極限環境で長寿命でありつつも、低価格・短納期な宇宙用軸受・ボールねじの開発を行う。

背景・経緯

月探査・惑星探査では極低温で長期間の駆動が求められる部品が多い。現行の宇宙用軸受やボールねじなどの機構部品は、高額かつ長納期となる課題がある。

狙い、波及効果

宇宙産業の拡大発展が見込まれる中、低コスト短納期の潤滑システムを開発し、宇宙産業の発展と競争力向上に寄与する。



株式会社川邑研究所

本社所在地	東京都目黒区目黒一丁目5番6号
設立／資本金	1977年4月設立 資本金二千万円
従業員数	36名（2024年4月現在）
事業内容	機能性塗料の研究開発製造販売

その他機関

機関名：国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構

- ・焼成膜および駆動要素開発の指導。
- ・開発する焼成膜および駆動要素の性能評価。